

ロシア連邦大統領  
ウラジミール・プーチン殿  
ロシア連邦駐日特命全権大使  
ミハイル・ガルージン殿

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に関して（申し入れ）

私たちは日本の神奈川県内の労働組合の連合体、神奈川県労働組合共闘会議(神奈川県共闘)です。私たち労働組合は「資本家に縛られる鉄の鎖以外失うものを持たない労働者同士の国際連帯」そして「労働者の生活を破壊する戦争に対して反対する」という理念のもとに組織されています。以上の観点から貴国のウクライナ侵攻について以下の通り申し入れます。

去る2月24日の現地時間早朝、ロシア軍が隣国ウクライナへ軍事侵攻を開始したことについて私たちは強い怒りと共に抗議します。2014年のロシアによるウクライナ東部地域などへの（ロシア系住民保護を名目とした）軍事的介入以来、ウクライナ軍とロシア系武装勢力の紛争が続いており1万人以上の犠牲者が出ていました。ロシア政府はこの紛争に関してこの間、ロシア系住民への支援・介入を続けてきており、今回のロシアの軍事侵攻はこうしたロシアの侵略政策の延長であると私たちは考えます。侵攻から一か月余りが経過し、戦火を逃れようとするウクライナ国内外の避難民は約1000万人に及んでいます。こうした中でプーチン大統領は核兵器をいつでも使用できる状況にするよう軍に指示を出し、隣国への侵略のみならず全世界をも巻き込む核戦争の危機へと状況を悪化させています。隣人の生活や住まいを一方的に奪う行為はいかなる理由であれ正当化されません。今回、プーチン大統領は核兵器使用をちらつかせ自らの戦争遂行を優位に運ぼうとしています。アメリカと並ぶ核大国であるロシアが一旦、核兵器の使用に及べばそれだけで想像を絶する惨事をもたらすばかりか、世界規模での核戦争をもたらすことは明らかです。ヒロシマ・ナガサキでの核爆弾の惨禍、第五福竜丸と福島原発事故における大量被ばくによる多大な健康被害の現実を広く共有し、その教訓を知る私たち日本の労働者は貴国の核戦争への挑発に反対しました、直ちに核兵器絶対不使用を宣言するようプーチン大統領に対し求めます。

一方で今回のロシアとウクライナの戦争を好機ととらえ、日本国内でも憲法を改悪し日本の軍備増強を図ろうとする策動や、さらには安倍元首相などからは「日本の核共同保有」なる主張まで飛び出しています。核戦争の危機に乗じてさらなる戦争の危機をあおる日本国内の一部勢力に対しても私たちは反対するものです。貴国がウクライナへの侵攻開始以来、ロシア国内でも多くの労働者、市民が自国政府の戦争政策に反対し立ち上がっています。貴国内の平和を求める多くの声に為政者として真摯に応えるよう特に要望するとともに

に目下、貴国政府が不当に拘禁している反戦デモ参加者、および野党関係者の即時無条件解放を求めます。アメリカ、EU からの厳しい経済制裁によりロシア国内の生活も苦しくなろうとしています。戦争によって暮らしが破壊されるのはどこに居ようと同じです。私たち労働者は、戦争に反対するロシアとウクライナ双方の労働者、市民の側に立ち核戦争への危機を回避し、平和を実現する決意です。また同時に日本国内において危機のどさくさに紛れて新たな戦争を準備しようとする策動（日本の「核保有」、憲法改悪など）に反対します。

ロシアは直ちにウクライナから撤退せよ！核兵器の使用絶対反対！憲法九条（「武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段として永久にこれを放棄する」）改悪反対！世界最大の核兵器保有国であるロシア、アメリカ両国は直ちに核兵器禁止条約を批准し核兵器全廃を実現せよ！

神奈川県共闘は日本と世界の人々と共に戦争に反対し平和を求める。

以上

2022年3月24日  
神奈川県労働組合共闘会議